

12月 ギャラリー& 県民講座

あびこ市民プラザ

◆芳壽会作品展
日～4日(休)10時～17時(最終日16時まで)
問木村☎7188-1094

◆第62回 我孫子市民文化祭 さつき秋季展
日6日(金)～9日(月)10時～17時(初日13時～)
問橋☎7149-1343

◆つまようじアート展 我孫子東高等学校図書委員会作品
日20日(金)～令和2年1月4日(土)9時～18時
問我孫子東高等学校☎7189-4051

図書館 1日(日)～28日(土) 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

湖北台分館ミニギャラリー
編み物作品展 松永ナナ子手編み教室
布佐分館ミニギャラリー
12月 窪田光士里
※図書館は12月29日(日)～令和2年1月4日(土)まで年末年始の休館となります。

アビスタストリート(中央通路)

開館時間：9時～21時 休館日：23日(月)

◆障害者週間作品展
日2日(月)～15日(日)(初日12時～)
問障害者福祉センター☎7185-1124

◆我孫子の歴史いろいろ
日17日(火)～27日(金)(初日13時～、最終日16時まで)
問岡本☎7149-6404

けやきプラザ 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

第1ギャラリー
◆第8回写真クラブ「写遊」写真展
日3日(火)～8日(日)10時～16時30分(初日13時～、最終日16時まで)
問永野☎7174-3088

◆WCIあびこツアー2019写真報告展
日10日(火)～15日(日)9時～19時(初日12時～、最終日15時まで)
問山口☎080-3515-7603

◆アンティークキルトに魅せられて
日17日(火)～22日(日)9時～19時(初日12時～、最終日17時まで)
問原田☎080-6523-7337

第2ギャラリー
◆第1回我孫子ハッピーヒーリングカラーソルトアート®塩絵展
日3日(火)～8日(日)10時～17時(初日13時～)
問田辺☎090-2665-7829

アビシルベ 問 ☎7100-0014

開館時間：9時～18時

◆「平和の集い～我孫子から平和を願う～」展
日1日(日)17時まで

◆我孫子東高等学校つまようじアート展示(ラッセン)
日3日(火)～19日(木)12時

◆アビストリーム「アビスト de Night☆」LIVE放送
日20日(金)18時～19時

◆あびマルシェ・子ども書初め教室
日21日(土)・22日(日)10時～16時

◆我孫子東高等学校つまようじアート展示(チーバくん・マークくん)
日24日(火)～27日(金)

水の館ミニギャラリー 開館時間：9時～17時

◆夢くらぶ～はがき絵の展示～
日9日(月)～23日(月)(初日10時～、最終日16時まで)
問金子☎090-9371-7483

けやきプラザ県民講座・講習

◆お金と賢くつきあうコツ
日6日(金)13時30分～15時30分 所7階研修室
講師 大川洋三さん(経済ジャーナリスト) 定60人

けやきプラザ県民講座・講習 問・圖 電話で住所・氏名・電話番号を明示。千葉県福祉ふれあいプラザ☎7165-2886 受講料 無料(要申込・先着順) 休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日火曜日)※専門職対象県民研修はホームページwww.furepla.jpをご覧ください。

古谷田奈月さんが野間文芸新人賞を受賞!

市内在住の作家・古谷田奈月さんの「神前酔狂宴」(河出書房新社)が第41回野間文芸新人賞を受賞しました。おめでとうございます!

◎野間文芸新人賞 純文学の新人作家に与えられる文学賞。文芸誌掲載作だけでなく、単行本も選考対象。

問 秘書広報課広報室☎7185-1269

ミュージアム・インフォメーション 問 鳥の博物館☎7185-2212

楽 第15回友の会展 「万葉集の旅 ～鶏の鳴く東の国から太宰府まで～」

日時 12月7日(土)～令和2年1月13日(祝)

場所 鳥の博物館2階企画展示室

内容 新元号「令和」にちなみ、その出典である万葉集に登場する鳥の和歌や、鳥たちの写真、そして万葉時代の史跡を巡る旅などを紹介します。また、昨年引き続き、ツバメの巣調査の結果や友の会各同好会の活動の成果も展示します。

入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下・70歳以上無料)



楽 テーマトーク 「実は日本のカモメ類が減っています」

日時 12月21日(土)午後1時30分～2時15分(1時15分開場)

場所 鳥の博物館2階多目的ホール

内容 日本で繁殖する2種のカモメ類(ウミネコとオオセグロカモメ)は、1年中どこかの漁港で観察できる馴染みの海鳥です。そんなカモメ類が近年、減少していることが分かりました。過去30年間のデータ解析から見てきた日本の海鳥の現状についてお話しします。

講師 富田直樹さん(公財)山階鳥類研究所保全研究室研究員)

定員 50人(申込不要)

費用 無料(要入館料)



▲日本を代表するカモメ類であるウミネコ

公開シンポジウム 「バンディングでわかることー鳥類標識調査の成果と未来ー」

令和初の「日本鳥類標識協会全国大会」が我孫子で開催！そこで、山階鳥類研究所が環境省から委託を受けて実施している鳥類標識調査に関するシンポジウムが公開されます。鳥に足環をつけて渡りや寿命を調べる調査の成果やこれからのことについて、一般の方にも分かりやすくお話しいただきます。

日時 12月14日(土)午後1時40分～3時50分(1時開場)

場所 我孫子南近隣センターホール

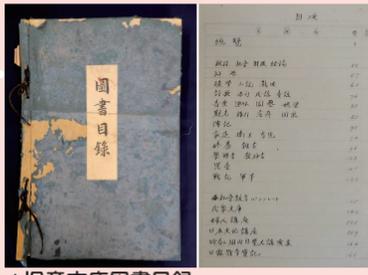
講演・講師 ①「環境省の鳥類標識調査とは？」 鶴澤菜矢さん・吉川紀愛さん(生物多様性センター) ②「渡りルート解明から絶滅危惧種の現状把握まで～鳥類標識調査の成果」 尾崎清明さん(山階鳥類研究所副所長) ③「モニタリング手法としての鳥類標識調査」 仲村昇さん(山階鳥類研究所保全研究室研究員) ④「絶滅危惧種コクガンの渡りの謎に挑む～保全のカギとなるデータを標識調査で探る」 澤祐介さん(バードライフ・インターナショナル東京) ⑤質疑応答・ディスカッション

定員 先着120人(申込不要) 費用 無料

ふらり あびこ散策 93 二番目の図書館 布佐2972の1

みなさん、こんにちは。今回は栄橋から国道356号を東へ。すると、右手に近隣センターふさの風があります。もともとここには、中央気象台長の岡田武松の家がありました。武松は布佐出身の気象学者で、帝国大学理科大学(現東京大学理学部)物理学科卒業後、明治32(1899)年中央気象台(現気象庁)に就職しました。当時は、空の情報が乏しく、少ない情報から天気を予報することは困難でした。そこで、武松は予報率の向上や海難事故を減らすために、海上船舶の無線通信や「ぶらり84」でお話しした気象送信所の設置など、空の情報を集めるためにさまざまな通信網の創設に関わりました。彼の業績のなかでも特筆すべきは、気象技術者養成のため、全寮制の専門学校をつくったことではないでしょうか。この学校は気象大学校として、現在も柏にあります。

後継者の育成に力を入れていた武松は、布佐の自宅に児童文庫を図書館として設け、地元の若い芽の成長にも心配りを欠かしませんでした。そう、この文庫こそ、戦前にあった布佐文庫とともに、布佐を代表する二番目の文庫なのです。彼が作った図書目録には、児童・青少年・婦人向けの本から、雑誌・教科書などさまざま本があり、文字の冒険に心躍らせる子どもたちの姿が想像できます。



▲児童文庫図書目録